

科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
公衆衛生看護学実習 I	後期	3年	必修	1単位	45h
担当教員名	メールアドレス		オフィスアワー		
◎杉井たつ子、小川将太	tatsuko.sugii@tohto.ac.jp		火曜～金曜(10時～16時) メールで事前にアポイントを取ること		
授業の概要					
地域包括支援センターの実習をとおして、地域の多様な場において行われている保健活動の実際を学ぶと共に、対象の特性や地域の社会資源を理解する。さらに、地域における多職種連携やチーム医療の実際について学ぶ。*この科目は看護師・保健師の実務経験のある教員による授業科目です。					
キーワード	到達目標				
地域包括ケア 他職種連携 チーム医療 社会資源	1. 地域の日常生活圏域で行われている身近な保健・医療・福祉活動について理解することができる。 2. 地域包括支援センター内での連携や主治医・訪問看護ステーション看護師・訪問介護員・介護支援員および民生委員等との連携について理解することができる。				
学習内容					
1. 実習期間：1週間（5日間） 第1日目 学内実習（事前学習の確認と補習） 第2日目 臨地実習（地域包括支援センター） 第3日目 臨地実習（地域包括支援センター） 第4日目 臨地実習（地域包括支援センター） 第5日目 学内実習（実習まとめ、事後学習）  2. 実習施設：沼津市内の地域包括支援センター  3. その他 ・実習オリエンテーションに出席し、事前学習に取り組むこと。 ・実習終了後は、記録物・課題を指定された日時までに提出すること。					
受講要件					
保健師課程を専攻し、3年次前期までに開講しているすべての必修科目の単位を修得していること。					
レポート	その他		合計		
30%	70%		100%		
教員からのメッセージ					
・地域では、さまざまな健康レベルの人々が生活しています。生活の場で行われている、個人や家族、地域組織を対象とした保健・医療・福祉活動について、ぜひ積極的に学んでください。					